

かなで〜る協会 15周年記念事業

こころ、踊る シエナ×聖響

指揮:金 聖響

華麗なる舞曲:スミス

「リユートのための古風な舞曲とアリア」より第3組曲:レスピーギ(真島俊夫編)

アルメニアン・ダンス パートI:リード

Symphonic D.P. (ディープ・パープル メドレー):杉浦邦弘編

グラナダ(A.sax:榮村正吾):ララ(森田一浩編)

「ウエスト・サイド・ストーリー」より シンフォニック・ダンス:バーンスタイン(ラベンダー編)

*演奏内容は都合により変更となる場合がありますので予めご了承ください。



©Eisuke Miyoshi



©三浦興一

2012年9月11日(火)

18:30 開演 (18:00 開場)

北斗市総合文化センター

かなで〜る大ホール

北斗市中野通2丁目13番1号(JR清川口駅徒歩1分)

入場料金 (全席指定・税込)

一般 ¥4,000 高校生以下 ¥2,500

[当日] 一般 4,500円 高校生以下 3,000円

[チケット取扱い]

- 北斗市総合文化センター かなで〜る
- 北斗市公民館
- 北斗市七重浜支所/
茂辺地支所(平日のみ販売)
- 函館市市民会館
- 函館市芸術ホール
- 七飯町文化センター

- 松柏堂プレイガイド各店
- ローソン北斗追分店
- 道新北斗宮崎販売所
- タムラ薬局
- (株)河合楽器製作所函館店
- (株)ヤマハミュージック北海道函館店

主催:北斗市かなで〜る協会、北海道新聞函館支社

後援:北斗市、北斗市教育委員会

協賛:(有)ツカサ工業 日の出製麺株式会社 北斗興業株式会社

制作:(株)オフィス・フォルテ

ご予約・お問い合わせ:北斗市総合文化センター かなで〜る TEL 0138-74-2000

金 聖響 キム・セイキョウ(指揮者)
Siena Wind Orchestra

1970年大阪府生まれ。14歳で渡米、ボストン大学哲学科を経て、ニューイングランド音楽院大学院指揮科修士課程修了。タングルウッド音楽祭に奨学聴講生として参加し、小澤征爾氏に師事。ウィーン国立音楽大学指揮科で湯浅勇治、レオポルド・ハーガーの各氏に師事。1998年「ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール」で優勝。その後「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)」等の音楽祭で実績を重ね、国内外のオーケストラへ客演。海外ではデンマーク国立放送交響楽団、パリのラムルー管弦楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー・フランダース交響楽団などへの客演で好評を博した。また国内では全国の主要オーケストラに客演を重ねている。



©Eisuke Miyoshi

2009年4月から神奈川フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任し、同年12月よりオーケストラ・アンサンブル金沢のアーティスティック・パートナーに就任。また2010/11年シーズンからベルギー・フランダース交響楽団の首席指揮者に就任した。2010年からスタートした神奈川フィルとの「マーラー・シリーズ」は大変好評を博しており、引き続き2013年まで行われる。CDはオーケストラ・アンサンブル金沢を指揮して2003年にスタートしたベートーヴェンの交響曲全曲録音プロジェクトが2011年5月「ベートーヴェン：交響曲第4番、第8番」をリリースして完結した。また2007年からスタートしたブラームスの交響曲全曲録音プロジェクトは、2009年9月に交響曲第4番および全集をリリースし完結。著書では、作家・玉木正之氏との共著・第3弾となる「マーラーの交響曲」が2011年12月に講談社現代新書より発売された。金聖響公式サイト <http://www.seikyokim.com/>



©三浦興一

シエナ・ウインド・オーケストラ *Siena Wind Orchestra*

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動をしており、定期演奏会のほか全国各地での音楽祭やイベントへの参加、また音楽鑑賞教室等の青少年育成事業等への出演などで活躍している。またオーケストラ編成による演奏のみならず、管楽器の特色を生かした多様なアンサンブルユニットによるコンサートや管楽器クリニック等の活動も積極的に展開しており、日本を代表するウインド・オーケストラとして、国内吹奏楽愛好家の先頭に立つフラッグシップオーケストラとして高い人気を誇っている。

2002年より佐渡裕を首席指揮者に擁し、金聖響をはじめとする世界トップレベルの実力派指揮者を客演に迎えている。吹奏楽オリジナル曲やマーチは勿論、クラシック、ジャズ、ポップス、映画音楽、ミュージカルナンバーなど幅広いジャンルにわたる演奏レパートリーによる若さ溢れるダイナミックな演奏、バリエーション豊富なパフォーマンスで全国各地に多くのファンを持っており、常に話題と期待を集める魅力と実力を兼ね備えたオーケストラとして成長を重ねている。最近ではテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に多数出演持ち前のユニークなパフォーマンスで番組史上最高視聴率を記録するなど、メディアからも注目される存在となっている。また、2010年10月から東京都文京区、2011年4月から学校法人尚美学園とそ

れぞれ事業提携を結び、これまでの幅広い演奏活動とともに地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。2011年4月には芸術性とポピュラリティのバランスよい活動が評価され2010年度第21回吹奏楽アカデミー賞を佐渡裕と共に受賞。2012年2月の全国ツアーでは「ブラス・ロック!!」と銘打ち、ディープ・パープルやエマーソン・レイク&パーマーを取り上げ、吹奏楽の新たな境地を見だし好評を博した。

CD「ブラスの祭典」(99年)、「ブラスの祭典2」(02年)、「ブラスの祭典3」(05年)は、いずれも大きな話題を呼び、その後DVD「ブラスの祭典ライブ2004」をエイベックス・クラシックスより発売。06年には金聖響指揮による「リード!リード!!!リード!!!」および「ジョン・ウィリアムズ吹奏楽ベスト!」を、翌年には再び佐渡裕とDVD「アフリカン・シンフォニー《ブラスの祭典ライブ2006》」をリリース。その後も多数のCD・DVDを発売。最近では「吹奏楽と合唱の祭典」、「チャイコフスキー・オン・ブラス」、「結成20周年記念コンサートLIVE」、「鳳凰が舞う〜THEオリジナルス」などをリリースし、いずれも大きな話題を呼んでいる。

シエナ・ウインド・オーケストラ オフィシャルHP
<http://www.sienawind.com/>